

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第32回『時代に生きる叡智 ～ 信実と誠実 ～』

「新渡戸記念中野総合病院」での、定例の「音読会：新渡戸稲造 著『武士道』（矢内原忠雄 訳、岩波書店 発行）」に赴いた（2020年11月19日）。今回は、『第7章「誠」』であった。「信実と誠実となくしては、礼儀は茶番であり芝居である。」「『[誠]という漢字は「言」と「成」との結合であり、——』と記述されている。「口に出したことは、必ず実行される」の学びの時であった。まさに、筆者の最新刊『生きがいに 気づく、いい言葉』（PHP研究所 発行）の原点である（画像1）

「『樋野動物園』1周年記念誌 ～ 個性と多様性 ～」（2020年10月13日 発行）（画像2）も話題になった。皆様も入所される予感がする。

「可愛い豚」（事務局長）？

「高潔なライオン」（理事長/病院長）？

「賢明な虎」（副院長）？

「品性のある猪」（看護部長）？

これこそ、「冗談を実現する胆力 = 時代に生きる叡智」であろう！（画像3 ラ から送られて来た）。

筆者は、「新渡戸記念中野総合病院」の歴史から将来を考えてみた。

2020年 病院名称変更 5周年

2022年 病院創立 90周年、新渡戸稲造 生誕 160周年

2023年 新渡戸稲造 没 90年

新渡戸稲造（1862-1933）は、カナダのビクトリアのRoyal Jubilee 病院で逝去している。以前に訪問した筆者にとっては、懐かしい想いでの場所である。筆者の夢は、「再び ビクトリアの旅」の実現である。

心が楽になる処方箋

生きがいに

気づく、

いい言葉

樋野興夫

順天堂大学名誉教授
がん哲学外来理事長

「怒ってばかりいる人生」より
「心おだやかな人生」がいい

がん哲学外来創始者がやさしく説く本

PHP研究所 定価：本体1,400円(税別)



「樋野動物園」 1周年記念誌
個性と多様性

「樋野動物園」 出版局



『樋野動物園』の時代的要請

冗談を実現する胆力＝
時代に生きる叡智

樋野興夫